

法吉団地のお客様各位

2023年11月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 94,480 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP) 2023年9月 550.0 (\$/t) 2023年10月 為替レート(TTS) 148.73 (円/\$)

2023年10月 600.0 (\$/t) 2023年10月 米国産物流経費 105.00 (\$/t)

2ヶ月平均 575.0 (\$/t) 2023年10月 輸送運賃 12,800 (円/t)

米国産原料価格(MB) 2023年9月 384.0 (\$/t) ※JGE 中東フレート

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 575.0 \times 148.73 \times 0.7 + (384.0 + 105.00) \times 148.73 \times 0.3 + 12,800 \\ &\div 94,480 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 94,480 - 67,170 = 27,310 → 27,300 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21 \times 27300}{100} \times 110\% = 63.0630 \div 63.06 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m³	896.50	519.86	582.92
B群 8.1~30.0m³	1,705.00	418.79	481.85
C群 30.1m³以上	4,400.08	328.95	392.01

法吉団地のお客様各位

2023年12月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 96,060 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP) 2023年10月 600.0 (\$/t) 2023年11月 為替レート(TTS) 150.60 (円/\$)

2023年11月 610.0 (\$/t) 2023年11月 米国産物流経費 105.00 (\$/t)

2ヶ月平均 605.0 (\$/t) 2023年11月 輸送運賃 11,500 (円/t)

米国産原料価格(MB) 2023年10月 355.0 (\$/t) ※JGE 中東フレート

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 605.0 \times 150.60 \times 0.7 + (355.0 + 105.00) \times 150.60 \times 0.3 + 11,500 \\ &\div 96,060 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 96,060 - 67,170 = 28,890 → 28,800 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21 \times 28800}{100} \times 110\% = 66.5280 \div 66.52 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m³	896.50	519.86	586.38
B群 8.1~30.0m³	1,705.00	418.79	485.31
C群 30.1m³以上	4,400.08	328.95	395.47

法吉団地のお客様各位

2024年1月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 96,340 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2023年11月	610.0 (\$/t)	2023年12月	為替レート(TTS)	150.95 (円/\$)
	2023年12月	610.0 (\$/t)	2023年12月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	610.0 (\$/t)	2023年12月	輸送運賃	12,000 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2023年11月	334.0 (\$/t)	※JGE 中東フレート		

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned}\text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 610.0 \times 150.95 \times 0.7 + (334.0 + 105.00) \times 150.95 \times 0.3 + 12,000 \\ &\div 96,340 \text{ (円/t)}\end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 96,340 - 67,170 = 29,170 \rightarrow 29,100 \text{ 円}\end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m}^3\text{)あたり0.210円調整いたします。} \\ \frac{0.21}{100} \times 29100 \times 110\% &= 67.2210 \div 67.22 \text{ 円}\end{aligned}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	587.08
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	486.01
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	396.17